



写真左から竜一さん、彩希ちゃん(4歳)、蒔喜ちゃん(8歳)、千奈ちゃん(9歳)、麻里さん

生き生き家族に
インタビュー

時には妻にも 余暇をプレゼント

にし
竜一さん・麻里さん
(寺中)

独 立し、事業を始め

たのは4年前。

ちようど、一番下の娘

が生まれたときでした。

そう語ったのは、大工

である父の姿を見て育

ち、いつかは独立した

いと願っていた竜一さ

ん。サラリーマン時代

は朝6時台に出勤し、

帰宅は早くても夜10時

過ぎ。休みは毎週水曜

日という家族とはすれ

違いの毎日。ほとんど

家族と過ごす時間はな

かったと言います。そ

んな中、愛娘の発した

「また来てね」の一言。

これが独立を後押しし

ました。

独立して一番良かつ

たのは、子どもとの時

間を作るようになった

こと。一緒に出かけ

る予定が立てられるよ

うになりました。朝は

早いので、朝食は別で

すが、私が子どもたち

を起こし、通学前も声

かけは欠かしません。

「家族のためになつて

いることと言ったら、

庭の枝切りや草取りぐ

らいかなー」と苦笑い

する竜一さん。

そ んな竜一さんの話

を笑顔で聞いてい

た妻の麻里さん。竜一

さんに感謝しているこ

とは？と尋ねると、「休

日に娘3人を連れて出

かけてくれることがあ

るんです。プールに

行ったり、電車に乗っ

てお祭りに連れて行っ

てくれたり。その間、

ゆつくりさせてもらっ

てます」とうれしそう

に語ってくれました。

相手の思いやり、相

手の好意に素直に感謝

すること。それぞれが

生き生きと輝くために、



ことし、10月2日に結婚10周年を迎え、竜一さんの独立後、最初の仕事先であった阿蘇のペンションで楽しい家族の思い出を作ったという西さん夫妻。竜一さんは、地元消防団に入団し、津森神宮の宮総代を司っています。頼んだことをしてもらえた時には素直に「ありがとう」と言い、プラスアルファの過度の期待をしないことが、大事ですと竜一さん。夫婦円満の秘訣のようです。